

「心臓と血液のはなし」



今回の保健指導では、血液と心臓の保健指導をしました。どうして心臓は、自分が寝ている間も動いているのか、そもそも何のために動いているのか、そんな疑問に答える保健指導です。心臓は、大切な血液を体中に送り届けるために絶えず動いていること、そのくらい血液は大切なもので、主に赤血球、白血球、血しょう、血小板が含まれていることなどを伝えました。子どもたちが想像以上に体の仕組みのことを知っていてビックリしました。指導後には一人一人に心臓の音を聴診器で聞いてもらいました。みんなの心臓の音は「ドキドキ」していました。

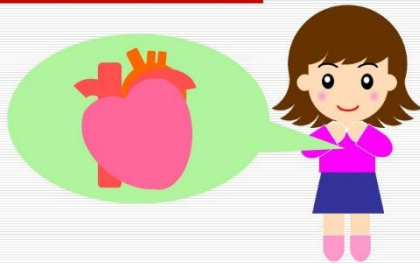


聴診器で自分の心臓の音を聞いてみました



<今回の保健指導のポイント>

どうしてうごいているのかな？



「しんぞう」は「ち」をからだじゅうにおくる「ほんぶ」

ふくらんだり、ちぢんだり・・・

「ち」をすいこむとふくらんで

これをくりかえしているから「ドキドキ」する

「ち」をおくりだすとちぢむ

「ち」のなかにはなにがはいっている？



「ち」は、だいじなはたらきをしているものがあつまっている。

そんなたいせつな「ち」をからだじゅうにおくっているのが「しんぞう」



だから、「しんぞう」のはたらきもとってもたいせつなんだね。